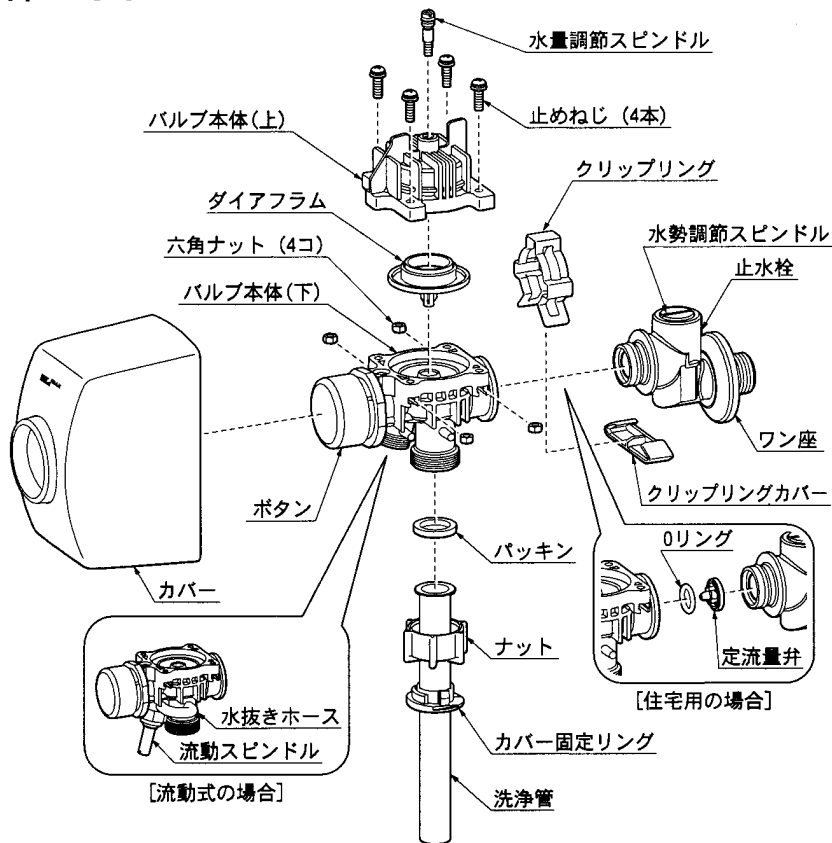
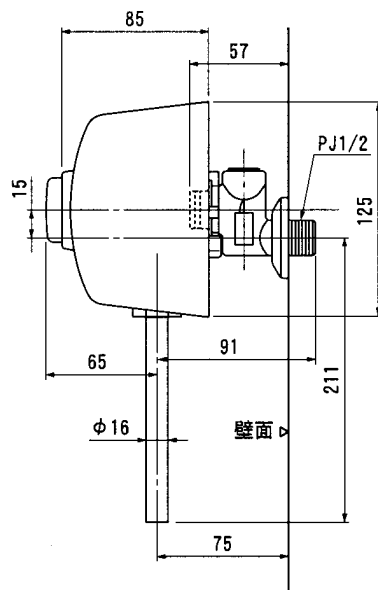
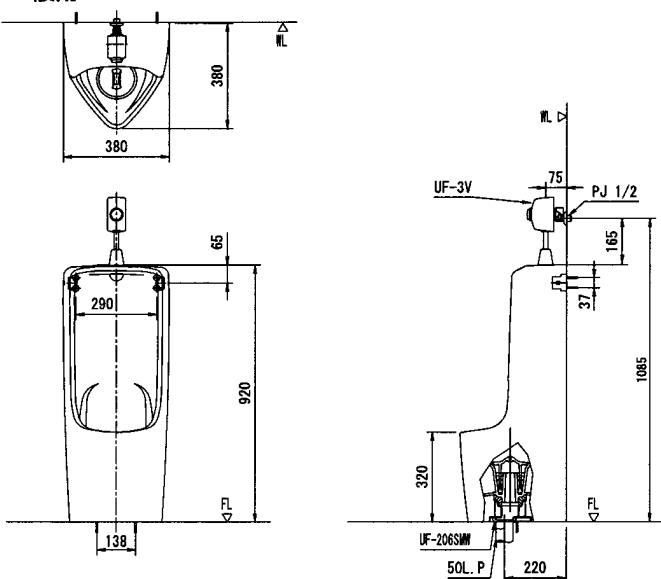
施工説明書

小便フラッシュバルブ

一般用：UF-3V（標準）／UF-3VT（住宅用）
流動式：UF-3VH（標準）／UF-3VHT（住宅用）

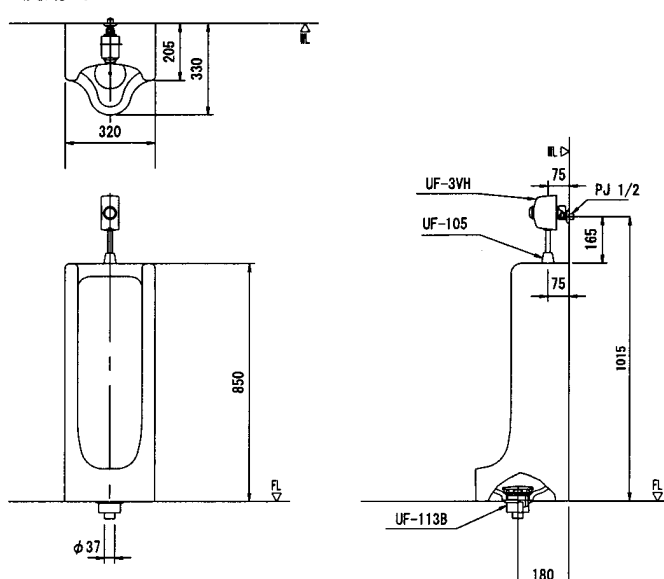
商品図

各部のなまえ

施工完了図

※上図は、U-321RMと組み合わせた場合です。

流動式

WL
206
330
320
UF-3VH
75
PJ 1/2
UF-105
165
75
850
1015
FL
FL
φ37
UF-113B
180

※上図は、U-103と組み合わせた場合です。

商品・施工方法についてのお問い合わせは、（株）INAXお客さま相談センター ☎ 0562-31-0793
お客さま相談センターは、平日「9：00 ～ 1
土日・祝日「10：00 ～ 18：00」対応（年末

このたびは当社商品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

注意	●この施工説明書をよく読み、正しく本商品を施工してください。 ●施工後は必ず試運転を行ってください。 ●お客さまに必ず本書と取扱説明書・保証書等をお渡しください。お渡しするときは、使用方法をご説明ください。

安全上のご注意

●施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
●ここに示した注意事項は、状況によって重大な事故に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。
●施工完了後、正常に作動することを確認するとともに、取扱説明書にそってお客さまに使用方法、お手入れの仕方を説明してください。
●この施工説明書は取扱説明書と共に、お客さまに保管戴くよう依頼してください。

用語および記号の説明

注意 ‥‥取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。

‥‥「注意しなさい！」
(上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。)

‥‥「してはいけません！」
(してはいけない行為を表しています。たとえば⊘は「分解禁止」を示しています。)

‥‥「指示通りにしなさい！」
(一般的な行動指示記号です。)

⚠注意

修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造を行わないでください。
※ ケガをしたり、漏水、故障、破損を引き起こす恐れがあります。

上水道以外は使用しないでください。
※ 内部腐食や異物のつまりにより、故障の原因となります。
※ 中水での使用の場合は、中水対応品(特注)を使用してください。

止水栓の調節と施工後の漏水点検を必ず行ってください。
※ 漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

凍結の恐れがある場合は、必ず流動式フラッシュバルブを使用し、流動操作を行ってください。
※ 凍結により破損、漏水の恐れがあります。

仕様

品名		小便フラッシュバルブ
品番		一般用：UF-3V（標準）／UF-3VT（住宅用） 流動式：UF-3VH（標準）／UF-3VHT（住宅用）
使用周囲温度範囲		UF-3V、UF-3VT（一般用）：0～40℃ UF-3VH、UF-3VHT（流動式）：-10～40℃
使用水		上水（中水仕様は特注対応です。）
給水接続口径		PJ1/2
給水圧力範囲		0.07～0.75MPa（流動時）
洗浄水量調節範囲		2～4L（出荷時:2L）
対応小便器品番	2L	スプレッダー式小便器 U-321RM, U-331RM, U-411R, U-431R, U-441R, U-406R
	4L	リム式小便器（直管） U-311M, U-321P, U-103, U-106, U-112, U-114 リム式小便器（ヘリウズ管）* U-104U, U-104PM, U-280, U-504 * リム式小便器（ヘリウズ管）には、洗浄管UF-111-4(180)が別途必要です。

使用条件

給水圧力

1. 最低水圧
   0.07MPa 以上[流動時]

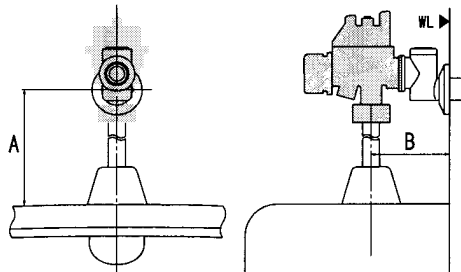
   ご注意
   最低水圧を下回ると十分な水勢が確保されず、小便器の鉢洗浄ができません。また、止水時に異音や振動が生じる恐れがあります。
2. 最高水圧
   0.75MPa 以下[流動時]

   ご注意
   最高水圧を上回ると、故障の原因となります。

配管の条件

給水管接続部までの引込管のサイズは、15A 以上にしてください。

取り付け可能範囲

取り付け可能範囲は、下の表の通りです。

	A (mm)	B (mm)
スプレッダー式小便器	150～215(基本寸法：165)	75±5
リム式小便器(直管)	120～185(基本寸法：165)	
リム式小便器(ヘリウズ管)	165～185(基本寸法：170)	

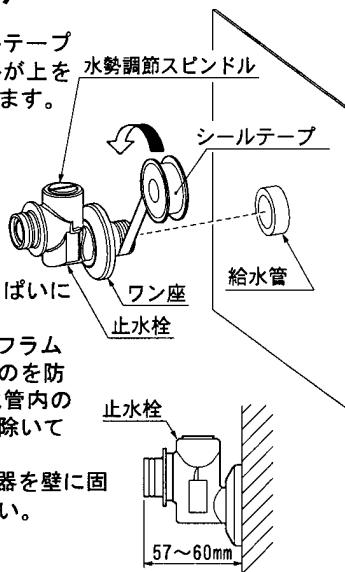
): 00」対応、
年始、夏季休暇は除く）となります。

施工前のご注意

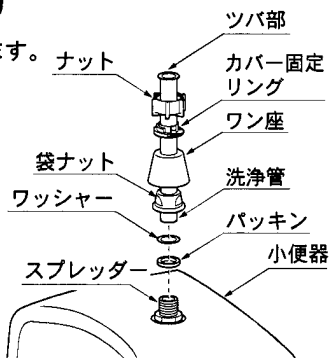
- ●はじめに、輸送中の破損がないことを確かめてください。
- ●フラッシュバルブを取り付ける前に、配管内のゴミ・水垢等の異物を完全に洗い流してください。
- ●各接続部は、漏水が起こらないように確実に接続してください。

施工手順

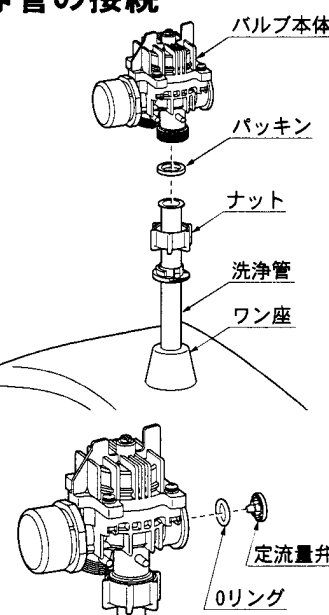
1 止水栓の取り付け

1. 止水栓に矢印の向きでシールテープを巻き、水勢調節スピンドルが上を向くように給水管にねじ込みます。
   ※壁から止水栓の先端までの距離が57～60㎜になるように調節してください。57～60㎜に調節できない場合は、小便器に取付けることができません。
2. 水勢調節スピンドルを右いっぱいに回して閉めます。
   ※止水栓取り付け後、ダイアフラムの小穴がゴミ等でふさがるのを防ぐために必ず通水し、給水管内のゴミ・水垢等の異物を取り除いてください。
   ※止水栓の取り付けは、小便器を壁に固定した状態で行ってください。

2 洗浄管の取り付け

1. 洗浄管を適切な長さに切断します。

   ご注意
   洗浄管を切断する際、ツバ部分を切断しないよう注意してください。
   スプレッダーに差し込むために必要な差し込みしろは、10㎜～20㎜です。
2. 洗浄管にナット、カバー固定リング、ワン座、袋ナット、ワッシャー、パッキンを差し込みます。
3. 洗浄管をスプレッダーに差し込みます。
4. 袋ナットを締め付け、ワン座をかぶせます。

3 バルブ本体と洗浄管の接続

1. ナットを洗浄管上部に引き上げ、内側にパッキンを装着します。
2. ナットを手でバルブ本体に締め付けて、洗浄管とバルブ本体を接続します。

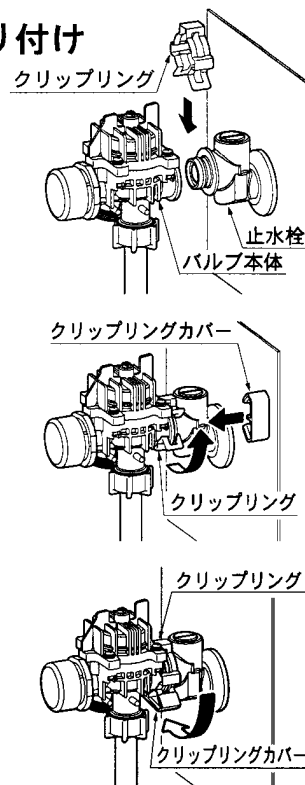
ご注意
- ●確実に接続されていないと漏水の原因になります。
  ナットを締め付ける際は、工具を使用しないでください。ナットが割れて漏水の原因になります。
- ●住宅用の場合
  バルブ本体に内蔵されている定流量弁とOリングを落とさないように注意してください。

4 バルブ本体の取り付け

1. 図のようにバルブ本体を正面から止水栓に差込み、クリップリングで固定します。

   ご注意
   取り付け後、クリップリングを一回転させて、確実に取り付けられているか確認してください。取り付けが確実でないと漏水の原因になります。

2. 図のように、クリップリング開口部を真横に向け、クリップリングカバーを矢印の方向から開口部に確実に取り付けます。

   ご注意
   いたずら等で故意にクリップリングが外されたりすることのないように、必ずクリップリングカバーを取り付けてください。

3. クリップリングカバーが真下にくるようにクリップリングを回します。

5 水勢の調節

●標準の場合

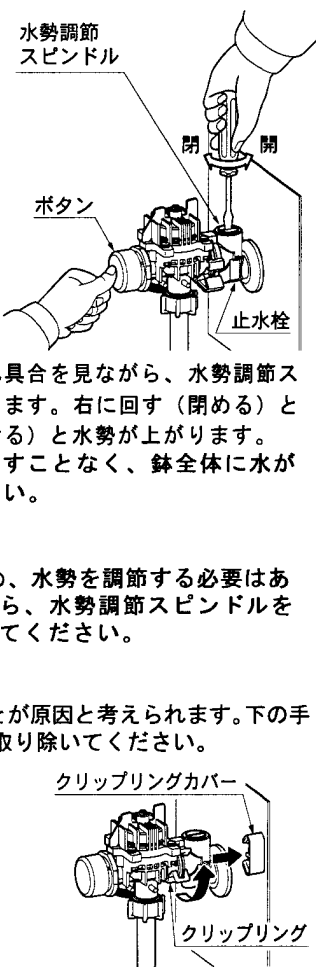
1. 通水します。
2. ボタンを押しながら、水勢調節スピンドルをゆっくり左に回して開けます。

   ご注意
   水勢調節スピンドルを一気に開けないでください。ダイアフラムが故障する原因になります。

3. ボタンを押した状態で水の流れ具合を見ながら、水勢調節スピンドルを回して水勢を調節します。右に回す（閉める）と水勢が下がり、左に回す（開ける）と水勢が上がります。
   ※洗浄水が小便器から飛び出すことなく、鉢全体に水が回るように調節してください。
4. ボタンをはなします。

●住宅用の場合
定流量弁が内蔵されているため、水勢を調節する必要はありません。ボタンを押しながら、水勢調節スピンドルをゆっくり左に回して全開にしてください。

住宅用の場合で水勢が弱いとき
定流量弁にゴミがつまっていることが原因と考えられます。下の手順に従って、定流量弁からゴミを取り除いてください。

1. 水勢調節スピンドルを閉めて水を止めます。（ボタンを押して、水が止まっているか確認してください。）
2. クリップリングカバーが真横にくるようクリップリングを回し、クリップリングカバーを矢印の方向に外します。

3. クリップリングを取り外し、バルブ本体を止水栓から外します。
4. バルブ本体内からOリングと定流量弁を取り出し、定流量弁につまっているゴミを取り除きます。
5. Oリングと定流量弁をバルブ本体内に戻します。

ご注意

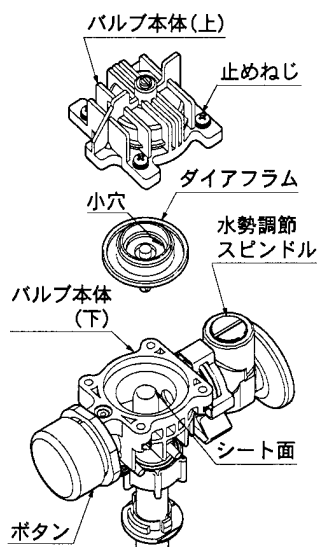
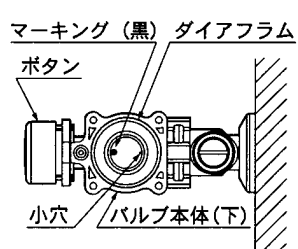
定流量弁を逆向きに取り付けないよう注意してください。逆向きに取り付けると、定流量弁としての機能を果たしません。

6. バルブ本体を正面から止水栓に差込み、クリップリングで固定します。
7. クリップリングにクリップリングカバーを取り付け、クリップリングカバーが真下にくるようにクリップリングを回します。

※ リム式小便器をお使いの場合は、給水圧力が低い（0.07MPa未満）と十分な水勢が確保できず、鉢洗浄ができないことがあります。その場合は、定流量弁を取り外し、前記「●標準の場合」の手順に従って水勢を調節してください。

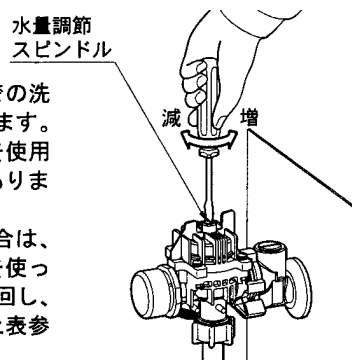
洗浄水が流れっぱなしになる場合

ダイアフラムの小穴にゴミ・水垢等の異物がつまっているか、またはダイアフラムとバルブ本体（下）シート面の間にゴミ等が付着していることが原因と考えられます。下の手順に従って異物を取り除いてください。

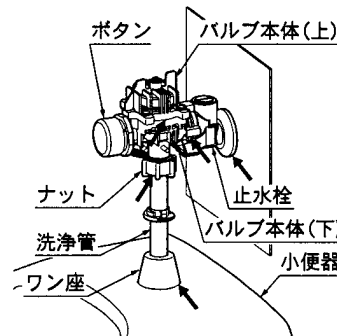
1. 水勢調節スピンドルを閉めて水を止めます。（ボタンを押して、水が止まっているか確認してください。）
2. バルブ本体（上）の止めねじ（4本）を外して、バルブ本体（下）内のダイアフラムを取り出します。
3. ダイアフラムの小穴に息を吹きかけて異物を取り除きます。シート面にゴミ等が付着している場合は、ゴミ等を取り除きます。
4. ダイアフラムをバルブ本体（下）に戻します。（ダイアフラムを元に戻すとき、ダイアフラムのマーキング（黒）をボタン側に向けてください。向きが合っていないと、洗浄水が流れっぱなしになる恐れがあります。）

5. 止めねじ（4本）を締めてバルブ本体（上）をバルブ本体（下）に取り付けます。
6. 水勢調節スピンドルを開けて水勢を調節します。

6 水量の調節

出荷時は、1回のボタン操作での洗浄水量が2Lに設定されています。したがって、2L対応小便器を使用する場合は、調節の必要はありません。

4L対応小便器を使用する場合は、マイナスドライバー（小型）を使って水量調節スピンドルを左に回し、4Lに調節してください。（右上表参照）

	2L対応小便器	4L対応小便器
小便器品番	スプレッダー式小便器 U-321RM, U-331RM, U-411R, U-431R, U-441R, U-406R	リム式小便器（直管） U-311M, U-321P, U-103, U-106, U-112, U-114 リム式小便器（ヘリウズ管）* U-104U, U-104PM, U-280, U-504 * リム式小便器（ヘリウズ管）には、洗浄管UF-111-4(180)が別途必要です。
水量調節の目安	水量調節スピンドルを右いっぱいに回して閉めてから2回転開く （洗浄時間：8～10秒）	水量調節スピンドルを右いっぱいに回して閉めてから8回転開く （洗浄時間：16～20秒） * 水量調節スピンドルを開きすぎると、スピンドルが外れて漏水の原因になります。

7 漏水の点検

1. ボタンを押して便器洗浄を行います。
2. 以下の箇所に漏水がないか確認します。
   - ・壁と止水栓の間
   - ・止水栓とバルブ本体（下）の間
   - ・バルブ本体（上）とバルブ本体（下）の間
   - ・バルブ本体（下）とナットの間
   - ・ワン座と小便器の間

   漏水している場合は、漏水箇所（矢印部分）を確実に接続し直してください。

8 カバーの取り付け

ご注意

カバー表面を傷つけないよう注意して取り付けてください。

1. カバー正面の穴にバルブ本体のボタンを通し、カバーをはめ込みます。
2. カバー固定リングの切り欠き部を壁側に向けます。カバーを手で押さえながら、カバー固定リングを引き上げてカバー下部の穴にはめ込みます。
   ※カバー固定リングとカバーとの間にすき間がないよう確実にはめ込まれている事を確認してください。
3. ボタン操作を数回行って便器を洗浄し、ボタンとカバーに干渉がなく、ボタン操作がスムーズに行えることを確認します。